

## 「危機」について

私たちは何となく毎日を過ごしており、「明日も生き抜きたい」と毎晩祈りを乞うている人は少ないように思います。たしかに今の日本は歴史的に見ても平和な状態であり、毎日を必死に生きているという感覚を得る機会は少なくなりました。しかし、人は生命の危機に直面すると驚くべき生存意欲を発揮します。

たとえば、高所恐怖症です。彼らは自らの身を高所に置いた場合に起こりうるさまざまな生命の危機を想定し、それらを回避しようと欲動に駆られます。つまり、彼らは「生の欲動」に素直な人物なのです。ちなみに私は高所恐怖症ではないのですが、ユニバのホラーナイトに参加したときに自らの「生の欲動」を確認することができました。ゾンビが出現する時間帯になると全身に緊張感が走り、いかにゾンビと距離を保つかということに脳内が支配され、行動を共にしていた友人を放置し、ゾンビから自分を護身する（つまり生き延びる）ことだけに意識を集中させました。

このような体験は実は人生で重要なものであると私は考えています。我々が衝動的な生の欲動に直面するとき、同時に恐怖感情が付随しますが、それも含め必要不可欠な人生体験なのではないでしょうか。そこで大切なことは、危機的場面でも俯瞰して自分を見つめることであるように思います。みなさんも日常の中で危機を感じたとき、「生きようとしている自分」を発見してみてください。〔原田夏花〕

## ローストビーフ



おいしい1kgローストビーフの作り方

1. お肉を常温に戻します。（めっちゃ大切）
2. 塩を振り表面だけ焼きます。（1面1分以内で）
3. お肉をラップで2重に包みます。（空気を抜いて）
4. お肉をジップロックに入れ、ストローで内部の空気を吸いだし、ほぼ真空にします。
5. 70℃のお湯をたっぷり用意します。
6. お肉をお湯にしっかりとつけ、お湯の温度をキープしたまま70分加熱します。（ジップロックが鍋に触れないように注意）
7. 加熱終了後、粗熱を取り、冷蔵庫で冷やします。

これはレアに仕上がるレシピですので、不安な方は加熱時間を延ばしてくださいね。〔金子祐太〕

## 音楽の持つ力



つい先日、ずっと応援してきた音楽グループが今年の12月31日をもって活動休止にはいるという内容が公式サイトで発表されました。

その事実を知り、活動休止をせず続けてほしい気持ちと、メンバーが決めたのだから応援したい気持ちとに挟まれながら過ごしています。

その音楽グループの曲には、落ち込んでしまったときに励ましてもらったり、人との縁をつないでもらったり、たくさんの場面でその曲と関わってきました。

音楽にはたくさんの力があると考えています。私はそのグループに出会えたことで自分を出すことができた場面が多くあります。みなさんも自分がより自分らしくいることができるような音楽を見つけてみてください。〔後藤綾祐美〕

## 旅に出よう！～阿蘇山と私～



今回は特別号ということで、私が九州旅行で阿蘇山に行った時のことをお話ししようと思います。阿蘇山とえば、社会の授業でも出てくる、熊本県の有名な火山ですね。近畿圏からほとんど出ることがない私にとって、火山を実物で見るといのはたいへん貴重な経験でした。（実は、近畿を含む瀬戸内海エリアには、活火山がほとんどありません！）旅行の日は、火山活動の関係で、火口に行くことはできないだろうということでしたが、それでも、世界的にも有名なカルデラを擁する山を一目見たいと思い、旅行の計画に真っ先に組み込みました。

実際に現地を訪ねてみた私は、自分の中の「山」の定義を変えざるを得ませんでした。これまで「山」といえば、せまっ苦しく、坂道のイメージでしたが、阿蘇の地形はそのどちらとも反していました。山中にあって遠くの空まで見渡すことができ、それでいて視界のすべてが山であるという情景を想像できますか。観光客やそこで働いている人以外には、牛や馬がいる程度で、行けども行けども草原が広がる道々を車で走っていると、まるで自分が異世界へと迷い込んでしまったような気分にもなりました。そして、こんなにも広く大きな自然が、私が生きてきたよりも何万倍も長い時間脈々と息づいてきたことを肌で感じ取り、私は己の、人間のいかにちっぽけなことを改めて思い知らされたのです。この「無力感」が、私が教職・講師職を改めて志す動機になっているのですが、それはまた別の機会に……。知識では知っているものを生で見るといのは、何にも代えがたいexcitingな経験です。皆さんも、チャンスがあればぜひ行ってみてください。〔酒井昂佑〕

あらためまして… 特進館学院 三田教室の全スタッフを紹介します！〔順不同〕

TOKUSHINKAN



STAFF

北村昌弘〔代表〕・野垣勝彦〔塾長〕・金子祐太〔三田教室長〕 **教務部** 澤井伸一・後藤綾祐美  
酒井昂佑・原田夏花・厚地香里・工藤祥・浅田幹太・酒井祐希奈・安永楓花・古川真衣・山下雄太  
成瀬祐輝・秋月麻綾・宮田咲希・間片ふう菜・吉田美音・前田菜緒・村田大輝・服部奨・岡村亮太  
大竹風奈・長井航洋 **総務部** 北里佳子・西家和子・山口ひとみ・川崎千代美・北村理紗

## 私立高入試併願は前哨戦

2月10日(月)~11日(火)に実施される国私立高校入試。附属池田高校をはじめとして難関高校志望の専願者にとっては、これまでの学習の成果を最大限発揮する時です。体調を整え、自信を持って受験してくださいね。17日(月)は公立推薦入試。特に学力検査の点数がいちばん肝心。面接は自己アピールの場と考え、「ゆっくり・はっきり・大きく」自分にしかない個性を十分に伝えきるようにしてください。また、私立高校受験が併願の人は、公立高校受験の前哨戦です。人生初の入試は独特の緊張感が漂いますが、しっかり勉強して来た人は焦る必要が全くありません。「受験番号・時間・自信の【3J】」さえしっかり意識できていれば大丈夫です。結果については志望コース通りの合格ではなくても、言い訳は考えずに「現段階での実力」と認識すべし。最後の最後に幸運と実力は残しておきましょう。〔野垣勝彦〕

1月・2月のおもなスケジュール		
1/25	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
2/1	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 中3入試直前保護者会
2	日	自習室開室(12:00~18:00)
8	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
9	日	自習室開室(12:00~18:00)
10	月	国私立高校入試日
11	火	建国記念日【授業あり】
15	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 学年末直前ゼミ
17	月	公立推薦入試日
22	土	2019年度授業終了 公立推薦合格発表日
23	日	自習室開室(12:00~18:00)
24~		公立入試直前ゼミ【全9日間】

## 節目を迎えて

明けましておめでとうございます、の言葉だけで何となく清々しい気分になる正月を迎えました。しかし、皆さんは何が「めでたい」かしていますか。何事もなく新年を迎えられてめでたい、年神様という神様を自分の家にお迎えできてめでたい、など今の生活ではイメージしにくい内容のようです。

では、私の考えはどうかというと、日本人はとりあえず、「めでたい」「ありがたい」という言葉で節目を祝っていただけなのに、後でごもったもな理由をつけてしまったため、いざ今の人たちが想像しようとする、上手いかないのではないのでしょうか。

また、このような事例は他にも多く存在します。例えばこの文章も。〔金子祐太〕



絶対合格感動合宿の1シーン。それぞれの願いを託した風船を一斉にリリースしました。

### 12月の“自習王”決定!

- ☆中学生の部  
中3 桑野 泰地 173.4時間
- ☆高校生の部  
高3 谷川 彰希 211.2時間

## 直訳のその先に

古文・漢文・英語の直訳のその先があることを忘れてはいけません。唐代の詩人于武陵の「勸酒」の一節を井伏鱒二はこう読みました。「花発多風雨、人生足別離」―「花に嵐のたとえもあるぞ、サヨナラだけが人生だ」直訳すると「花が咲くと雨が降ったり風が吹いたりする、人生に別離はつきものだ」ですが、比べて井伏の訳はなんてすばらしいことでしょう。〔原田夏花〕

3/4(水)より新年度の授業がスタートいたします。それに伴い3月分学費と合わせて新年度教材費を合算させていただきます。後日教材費一覧を配布いたしますので今しばらくお待ちください。

2月分 1月 27日(月)  
学費の振替

## 不可解な『塾ナビランキング』

保護者のみなさんが、スマホなどで塾探しを行うのによく使われる「塾検索サイト」で、最大手と言われる『塾ナビ』をご存知の方は多いと思います。その中の気になるコンテンツに、『塾・学習塾ランキング』があります。これは、保護者の評判・口コミを5点満点の☆の数で評価するというものです。

「三田市・総合」で調べてみると、堂々1位から10位までに市内の名だたる塾がランクイン。口コミの☆の数は、1位の「3.66」から「3.22」まで。グルメサイト「食べログ」の☆に置き換えても、なかなかの高評価です。

さて、特進館学院は何位かな? でも、何度探しても出てきません。20位にも30位にも存在せず、まったくの「圏外」。泣きそうになり、「塾名検索」でやっと出てきた特進館学院。その☆の数は、県下でも稀なレベルの「4.50」。思わず、「なんでやねん!」と怒りの声。

後で調べると、「塾ナビにお金を払っていない塾は、ランキングには載らない」とのこと…。何と理不尽な。こんな商法に騙される方がおられると思うと悲しくなります。特進館学院は、お預かりした学費をこんな輩に費やすつもりはありませんのでご安心ください!〔北村昌弘〕



### 代表北村の独り言…

2011年11月スタートの特進館通信が、ついに「創刊100号」の快挙を達成しました!(拍手)これもひとえにみなさんの支えの賜と感謝!次は1000号を目指します!

欠席連絡専用LINEアカウントを開設しました!!

詳しくはメールをご確認ください

## 編集後記

年が明けてそろそろ1カ月が過ぎようとしています。この冬は暖冬予報で、お正月も比較的穏やかで、過ごしやすかったように思います。その反面、スキー場など雪が必要なところでは、積雪量が足らず、営業に支障が出ているそうです。スキー合宿などの学校行事も、中止になったり、内容が変わったりと慌ただしい対応がなされていると聞きます。自分の生活圈だけのことを考えれば暖冬はありがたいことなのですが、四季ある日本としては、やはり冬らしい寒さが求められる部分もあるのだと感じさせられました。